

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003011	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西田 治 / Nishida Osamu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西田 治 / Nishida Osamu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西田 治 / Nishida Osamu		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	小中学校への出前授業多数。高等学校非常勤講師の実務経験あり。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明（対面）
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、グループ分け、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講（対面）
第4回	情報リテラシーとモラルについて、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第5回	著作権、生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第6回	テーマの設定、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション（対面）
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション（対面）
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始（対面）
第9回	中間発表 質疑応答（対面）
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）（対面）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出（対面）
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション（対面）
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出（対面）

第14回	最終レポートの修正（対面）
第15回	最終レポートの修正（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003012	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	keiko-s▲nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	教育学部514室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2302		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日午前中		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標/Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習
教科書・教材・参考書/Materials	濱中淳子著『大学でどうに学ぶか』ちくまプリマ―親書482
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	高等学校教員
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明（対面）
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、グループ分け、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講（対面）
第4回	情報リテラシーとモラルについて、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第5回	著作権、生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第6回	テーマの設定、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション（対面）
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション（対面）
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始（対面）
第9回	中間発表 質疑応答（対面）
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）（対面）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出（対面）
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション（対面）
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出（対面）

第14回	最終レポートの修正（対面）
第15回	最終レポートの修正（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003013	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	新谷 和幸 / Niya Kazuyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	新谷 和幸 / Niya Kazuyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	新谷 和幸 / Niya Kazuyuki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明（対面）
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、グループ分け、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講（対面）
第4回	情報リテラシーとモラルについて、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第5回	著作権、生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第6回	テーマの設定、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション（対面）
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション（対面）
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始（対面）
第9回	中間発表 質疑応答（対面）
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）（対面）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出（対面）
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション（対面）
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出（対面）

第14回	最終レポートの修正（対面）
第15回	最終レポートの修正（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003014	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	倉田 伸 / Shin Kurata		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	倉田 伸 / Shin Kurata		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	倉田 伸 / Shin Kurata		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明（対面）
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、グループ分け、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講（対面）
第4回	情報リテラシーとモラルについて、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第5回	著作権、生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第6回	テーマの設定、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション（対面）
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション（対面）
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始（対面）
第9回	中間発表 質疑応答（対面）
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）（対面）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出（対面）
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション（対面）
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出（対面）

第14回	最終レポートの修正（対面）
第15回	最終レポートの修正（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003015	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（教育） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 千秋 / Nakamura Tiaki		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	中村 千秋 / Nakamura Tiaki		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	中村 千秋 / Nakamura Tiaki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	知的活動への動機づけを高める。（自ら学び、考え、主張し、行動することができる。） 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。（専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。） レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。（主体性をもって他者と協働できる。） 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。（社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明（対面）
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、グループ分け、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講（対面）
第4回	情報リテラシーとモラルについて、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第5回	著作権、生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第6回	テーマの設定、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション（対面）
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション（対面）
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始（対面）
第9回	中間発表 質疑応答（対面）
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）（対面）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出（対面）
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション（対面）
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出（対面）

第14回	最終レポートの修正（対面）
第15回	最終レポートの修正（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003016	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（教育） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	駒津 順子 / Komatsu Junko		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	駒津 順子 / Komatsu Junko		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	駒津 順子 / Komatsu Junko		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	知的活動への動機づけを高める。（自ら学び、考え、主張し、行動することができる。） 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。（専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。） レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。（主体性をもって他者と協働できる。） 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。（社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	公立高等学校教員
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明（対面）
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、グループ分け、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講（対面）
第4回	情報リテラシーとモラルについて、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第5回	著作権、生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第6回	テーマの設定、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション（対面）
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション（対面）
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始（対面）
第9回	中間発表 質疑応答（対面）
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）（対面）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出（対面）
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション（対面）
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出（対面）

第14回	最終レポートの修正（対面）
第15回	最終レポートの修正（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003017	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（教育） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宮内 香織 / Miyauchi Kaori		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	宮内 香織 / Miyauchi Kaori		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	宮内 香織 / Miyauchi Kaori		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	知的活動への動機づけを高める。（自ら学び、考え、主張し、行動することができる。） 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。（専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。） レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。（主体性をもって他者と協働できる。） 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。（社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明（対面）
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、グループ分け、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講（対面）
第4回	情報リテラシーとモラルについて、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第5回	著作権、生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第6回	テーマの設定、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション（対面）
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション（対面）
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始（対面）
第9回	中間発表 質疑応答（対面）
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）（対面）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出（対面）
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション（対面）
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出（対面）

第14回	最終レポートの修正（対面）
第15回	最終レポートの修正（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003018	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小柳 勝彦 / Koyanagi Katsuhiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	小柳 勝彦 / Koyanagi Katsuhiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	小柳 勝彦 / Koyanagi Katsuhiko		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	高等学校教諭（保健体育科）及び競技スポーツ指導者
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明（対面）
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、グループ分け、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講（対面）
第4回	情報リテラシーとモラルについて、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第5回	著作権、生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第6回	テーマの設定、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション（対面）
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション（対面）
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始（対面）
第9回	中間発表 質疑応答（対面）
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）（対面）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出（対面）
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション（対面）
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出（対面）

第14回	最終レポートの修正（対面）
第15回	最終レポートの修正（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003019	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	福山 隆雄 / Takao Fukuyama		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	福山 隆雄 / Takao Fukuyama		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	福山 隆雄 / Takao Fukuyama		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明（対面）
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、グループ分け、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講（対面）
第4回	情報リテラシーとモラルについて、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第5回	著作権、生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第6回	テーマの設定、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション（対面）
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション（対面）
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始（対面）
第9回	中間発表 質疑応答（対面）
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）（対面）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出（対面）
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション（対面）
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出（対面）

第14回	最終レポートの修正（対面）
第15回	最終レポートの修正（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003020	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（教育） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	前田 桂子 / Keiko Maeda		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	前田 桂子 / Keiko Maeda		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	前田 桂子 / Keiko Maeda		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目（第2欄）, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み（アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明） 文章の書き方（アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング） 文章の読み方（クリティカル・リーディング） 情報リテラシーとモラル（引用の仕方、不正行為（剽窃・盗用）、情報リテラシー、教員への質問の仕方（研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む）） 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心（テーマ）の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	知的活動への動機づけを高める。（自ら学び、考え、主張し、行動することができる。） 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。（専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。） レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。（主体性をもって他者と協働できる。） 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。（社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明（対面）
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、グループ分け、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講（対面）
第4回	情報リテラシーとモラルについて、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第5回	著作権、生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第6回	テーマの設定、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション（対面）
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション（対面）
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始（対面）
第9回	中間発表 質疑応答（対面）
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）（対面）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出（対面）
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション（対面）
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出（対面）

第14回	最終レポートの修正（対面）
第15回	最終レポートの修正（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003021	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大庭 伸也 / Shinya Oba		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大庭 伸也 / Shinya Oba		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大庭 伸也 / Shinya Oba		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明（対面）
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、グループ分け、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講（対面）
第4回	情報リテラシーとモラルについて、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第5回	著作権、生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第6回	テーマの設定、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション（対面）
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション（対面）
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始（対面）
第9回	中間発表 質疑応答（対面）
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）（対面）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出（対面）
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション（対面）
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出（対面）

第14回	最終レポートの修正（対面）
第15回	最終レポートの修正（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003022	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明（対面）
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、グループ分け、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講（対面）
第4回	情報リテラシーとモラルについて、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第5回	著作権、生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第6回	テーマの設定、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション（対面）
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション（対面）
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始（対面）
第9回	中間発表 質疑応答（対面）
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）（対面）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出（対面）
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション（対面）
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出（対面）

第14回	最終レポートの修正（対面）
第15回	最終レポートの修正（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003023	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	佐藤 洋 / Sato Hiroshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	佐藤 洋 / Sato Hiroshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	佐藤 洋 / Sato Hiroshi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明（対面）
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、グループ分け、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講（対面）
第4回	情報リテラシーとモラルについて、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第5回	著作権、生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第6回	テーマの設定、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション（対面）
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション（対面）
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始（対面）
第9回	中間発表 質疑応答（対面）
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）（対面）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出（対面）
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション（対面）
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出（対面）

第14回	最終レポートの修正（対面）
第15回	最終レポートの修正（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003024	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小西 祐馬 / Konishi Yuuma		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	小西 祐馬 / Konishi Yuuma		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	小西 祐馬 / Konishi Yuuma		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明（対面）
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、グループ分け、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講（対面）
第4回	情報リテラシーとモラルについて、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第5回	著作権、生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第6回	テーマの設定、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション（対面）
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション（対面）
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始（対面）
第9回	中間発表 質疑応答（対面）
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）（対面）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出（対面）
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション（対面）
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出（対面）

第14回	最終レポートの修正（対面）
第15回	最終レポートの修正（対面）

学期 / Semester	2025年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2025/04/01 ~ 2025/09/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/32.0, 1.0/1.0,
時間割コード / Time schedule code	20250581003025	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 保巳 / Suzuki Yasumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 保巳 / Suzuki Yasumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 保巳 / Suzuki Yasumi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 編入学生教養教育科目認定単位, 教養ゼミナール科目, 教職に関する科目(第2欄), 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ys11▲nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館216研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2385		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。 以上の授業概要及び位置づけに基づき、授業内容では以下を取り上げる。 自立的な学びの仕組み(アクティブラーニングとは何か、学修ポートフォリオの位置づけ、総合評価、各学部・コースのディプロマポリシーの周知、カリキュラムマップ・ツリーの説明) 文章の書き方(アカデミック・ライティング、クリティカル・ライティング) 文章の読み方(クリティカル・リーディング) 情報リテラシーとモラル(引用の仕方、不正行為(剽窃・盗用)、情報リテラシー、教員への質問の仕方(研究室の訪問の仕方、オフィスアワーとは何か、メールの書き方を含む)) 著作権 生成AIの概念と応用 社会におけるデータ・AI等の活用事例 図書館資料収集ガイダンス 課題発見、リサーチクエスト、問題関心(テーマ)の選択など プレゼンテーションの方法 ディスカッションの方法		
授業到達目標 / Course goals	知的活動への動機づけを高める。(自ら学び、考え、主張し、行動することができる。) 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。(専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。) レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。(主体性をもって他者と協働できる。) 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。(社会人として必要な能力を身につけ、職場や地域の一員として適切な行動ができる。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点 プレゼンテーション20点 レポート60点（個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習 あらかじめ決められたテーマに対し自主的に調査をする。（2h） 復習 発表した調査内容に対する問題点を精査する。（2h）
キーワード/Keywords	初年次教育、課題探求・課題解決型学習、自己表現・コミュニケーション能力、主体的能動学習
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は定めない
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介、教養ゼミナールの趣旨説明、教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明（対面）
第2回	各学生によるテーマの提示と説明、質疑応答、グループ分け、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講（対面）
第4回	情報リテラシーとモラルについて、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第5回	著作権、生成AIの概念と応用、社会におけるデータ・AI等の活用事例、学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業（対面）
第6回	テーマの設定、グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション、グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション（対面）
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション（対面）
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成開始・レポートの作成開始（対面）
第9回	中間発表 質疑応答（対面）
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の作成・レポートの作成（中間発表による修正）（対面）
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告、計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション、発表資料の提出・レポート素案の提出（対面）
第12回	プレゼンテーション準備（発表練習）と質疑応答、グループディスカッション（対面）
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション、質疑応答、レポート最終素案の提出（対面）

第14回	最終レポートの修正（対面）
第15回	最終レポートの修正（対面）